

持続的生産強化対策事業のうち令和元年度年度次世代国産花き産業確立推進事業に関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	中国四国農政局
				目標値	差	基準年度	目標年 令和6年度	達成率	具体的な 取組内容	
岡山県	岡山県花卉消費拡大実行委員会	小さくりんどう	2019年度	販売額 39,995,787円	1,904,562円	H26～H30年のうち 中間値3年の平均 38,091,225円	30,988,313円	-372.9% 未達成	・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・高品質化生産技術等の導入実証 ・消費拡大プロモーション活動 ・生産者と実需者の連携促進 ・各種マニュアル等の作成	新型コロナウイルス感染拡大により減少した催事や冠婚葬祭での需要が回復基調にあるものの、コロナ禍前まで回復しておらず、仏花用途以外の需要が低い菊やりんどうの販売額が伸び悩んでおり、目標未達となった。 今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。
広島県	広島花きイノベーション事業推進協議会	全般	2019年度	収量 21,229本/10a	1,011本/10a	平成28年 20,218本/10a	17,339本/10a	-284.8% 未達成	・高品質化生産技術等の導入実証 ・消費拡大プロモーション活動 ・検討会の開催 ・各種マニュアル等の作成 ・事業の実施効果の調査・分析	収量に関しては、夏の高湿等の影響で露地栽培の収量が減少したため目標未達となった。 作付面積に関しては、近年の資材価格や燃料価格の高騰により施設栽培を必要としない品目への転換がみられ、また新型コロナウイルス感染拡大による需要減少や自然災害が契機となり花き生産を縮小・廃業する生産者が増え、目標を達成しなかった。 取扱数量に関しては、夏の高湿の影響で生産量が減少したこと、加えてコロナ禍以後業務用需要が戻りきっていないことから、取扱数量の目標が未達となった。 今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。
				作付面積 899a	82a	平成28年 817a	876a	71.9% 未達成		
		菊	取扱数量 5,969千本	285千本	平成28年 5,684千本	4,306千本	-483.6% 未達成			
徳島県	とくしまの花振興協会	シンビジウム	2019年度	収量 1,078本/a	52本/a	H24～H28年5中3平均 1,026本/a	令和5年 783本/a	-468.2% 未達成	・花き関係者の連携 ・高品質化生産技術等の導入実証 ・消費拡大プロモーション活動 ・花育体験、園芸体験等による花きの活用促進	収量に関しては、近年の高湿等の影響により生理障害が発生したこと等が要因となり、目標未達となった。 作付面積に関しては、近年の資材・燃料費高騰の影響で生産者負担が増加し面積を縮小したり、新規参入がより困難になったりしていること、加えてコロナ禍後の業務用需要減少が影響したため、目標未達となった。 今後、目標達成に向けた改善計画を策定するよう指導する。 なお、購入数量については、目標達成した。
				作付面積 2,470a	225a	H24～H28年5中3平均 2,245a	令和5年 1,366a	-390.6% 未達成		
		全般	購入数量 30%	—	令和元年 0%	90%	300.0% 達成			
高知県	高知県園芸品販売拡大協議会	トルコギキョウ	2019年度	労働時間 1,433時間	-76時間	平成29年 1,509時間	1,276時間	306.5% 達成	・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・生産・加工・流通における品質管理技術等の導入実証 ・消費拡大プロモーション活動 ・花育体験、園芸体験等による花きの活用促進	労働時間、購入数量、輸出力、輸送手段のすべての目標について達成した。
		全般		購入数量 30.0%	—	令和元年 受講者数	42.4%	141.3% 達成		
		ユリ		輸出力の割合 5.0%	5.0%	令和元年 0.0%	8.0%	160.0% 達成		
				輸送手段 航空便	—	令和元年 トラック	航空便	100.0% 達成		